

2024年度（第15期）

事業計画

2024年4月 1日から

2025年3月31日まで

日本バレーボール協会

(Japan Volleyball Association)

1. 事業方針・重点実施項目	3
(1) 事業方針	
(2) 重点実施項目	
2. 事業活動	4
2-1. 代表強化	4
2-1-1. 競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業	4
(1) 各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化事業	
(2) 各カテゴリー日本代表選手団の国際大会派遣事業	
2-1-2. 競技力向上に係る環境整備及び調査研究事業	10
(3) 競技活動を行う選手の競技・練習環境の整備、情報発信	
(4) 競技力向上にかかわるバレーボール技術・戦術の調査研究及び スポーツ医科学の調査研究事業	
2-1-3. 将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業	12
(5) 将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業	
2-2. 競技普及	13
2-2-1. 競技会開催事業	13
(1) 国際大会開催事業	
(2) 全国大会等国内競技会開催事業	
2-2-2. 講習会開催事業、指導者、審判員等養成及び資格認定・登録事業	18
(1) 指導者養成・育成事業	
(2) 審判員養成・育成事業	
(3) 審判員資格認定事業	
2-2-3. 競技者拡大活動	21
(1) Vリーグ選手と一緒にバレーボール教室	
(2) 中学校ビギナー選手バレーボール大会推進	
(3) 全国小中一貫バレーボール教室	
(4) 幼稚園・保育園等でのソフトバレーボール（風船等）実践	
(5) アンダー10大会促進	
(6) 競技環境の整備と競技人口減少への対策	
2-2-4. 登録システム構築事業	22
(1) JVAメンバー制度登録管理システム（Membership Registration System）	
2-2-5. アンチ・ドーピング事業	22
(1) 競技の高潔性維持とアンチ・ドーピングの遵守	
2-2-6. 国際交流事業	23
(1) 国際交流事業	
2-3. マーケティング	23

2-3-1. マーケティング事業	23
(1) 協賛企業獲得	
(2) グッズ事業	
(3) 肖像使用許諾事業	
(4) ファンクラブ事業	
(5) 用具・用品等の公認事業及びその他の公認物品販売事業	
2-4. 社会貢献	24
2-4-1. 社会貢献活動・環境問題への取り組み	24
(1) 社会貢献活動・環境問題への取り組み	
(2) 国際貢献事業	
2-5. 組織改革	24
2-4-1. 加盟団体との連携強化	24
(1) 法人格取得に向けた支援	
(2) 事業間の連携	
(3) 新リーグ支援	

1. 事業方針・重点実施項目

公益財団法人日本バレーボール協会（以下 JVA）は、昨年「JAPAN バレーボール宣言」と行動規範「JAPAN バレーボール WAY」を制定しました。この度それらを根幹とした中長期計画を策定し、2024 年度はその初年度となります。計画の実現に向けてバレーボールファミリー一丸となり誠実に各種事業を推進してまいります。

本年度はパリ五輪が開催されます。競技面だけではなく、ガバナンス・コンプライアンスの一層の強化や暴力撤廃アクションの推進にも注力しながら、「”つなぐ力”を世界に育む」という協会の掲げる宣言の実行に向けて邁進いたします。

(1) 事業方針

- 1)『代表強化』 世界トップレベルと戦える、強い代表チームを作り上げる。
- 2)『競技普及』 バレーボールという競技を通じて、する・観る・支える人のつながりを広げていく。
- 3)『マーケティング』 活動を支えてくださる皆さまへ新たな価値を発掘・提供する。
- 4)『社会貢献』 社会の一員として、豊かな社会の実現に向けた活動を推進し、社会貢献でスポーツ界のトップランナーとなる。
- 5)『組織改革』 誠実で信頼される組織運営の実行と、相互理解をベースとした加盟団体との強固なネットワークを構築すること、加えて加盟団体の法人化を推進することで、バレーボール界の更なる発展に向けた礎を作る。

(2) 重点実施項目

- 1)パリ五輪において世界を驚かせる戦いを見せ、日本中を熱狂の渦に巻き込む。
インドア:女子はオリンピック出場権獲得を喫緊の必達目標とし、本大会では男女ともにメダルを獲得する。
ビーチ :強化を継続し、男女ともにオリンピック出場権を獲得する。
インドア、ビーチともにオリンピック後も見据え、一貫した強化体制を構築する。
- 2)少子高齢化や部活動の地域移行に対応できるよう、競技者人口の実態を正確に把握するため「JVA 登録制度」の見直しを実施する。また、各年代や競技種別のニーズにあった競技環境の整備を行い、競技スポーツ・生涯スポーツ双方の面から各種大会の価値向上を図る。
- 3)ブランディングの推進、協賛企業にとって新しい価値となる活動の商材化、ファン体験の質の向上の3点をマネタイズにつなげていく。
- 4)「つなぐ力」が生み出す価値を社会貢献に関する具体的なアクションに結び付け、実行する。
- 5)多くのステークホルダーから信頼感と期待感を寄せられる透明で誠実な組織運営を自らが実践し、また加盟団体にも波及させていくことで、競技発展に資する組織体制を整える。

★略称解説★

AVC	アジアバレーボール連盟 (Asian Volleyball Confederation)
BVT	ジャパンビーチバレーボールツアー
FISU	国際大学スポーツ連盟 (International University Sports Federation)
FIVB	国際バレーボール連盟 (Fédération International de Volleyball)
JOC	公益財団法人日本オリンピック委員会 (Japanese Olympic Committee)
JSC	独立行政法人日本スポーツ振興センター (Japan Sport Council)
JSP0	公益財団法人日本スポーツ協会 (Japan Sport Association)
NF	各国のバレーボール協会 (National Federation)
NTC	味の素ナショナルトレーニングセンター (National Training Center)
VNL	バレーボールネーションズリーグ (Volleyball Nations League)
JVL	一般社団法人ジャパンバレーボールリーグ

2. 事業活動

2-1. 代表強化

2-1-1. 競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業

(1) 各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化事業

【バレーボール】

1) 男子・女子日本代表チーム強化目標

男子、ブラン・フィリップ監督、女子、眞鍋政義監督体制で3年目を迎え、集大成となるパリオリンピックでのメダル獲得に向け強化を推進する。女子は何よりオリンピック出場権を獲得するため、5月中旬から6月下旬に開催されるVNLで勝ち星を取りこぼすことなく、世界ランキング上位の状態での出場権を必ず獲得する。

2024年度はオリンピック前の実践の場がVNLのみとなり、男子はオリンピックでのメダル獲得に向けての戦い方を戦略的に試していく。女子はオリンピック出場権獲得を必達とし、勢いをつけて本大会に臨む。

■男子：国内合宿・NTCを中心に強化合宿を実施

2024年度の活動については、4月上旬に選手を招集し、NTC・国内合宿を実施。5月中旬にオランダ遠征を行ない、VNLブラジル大会に向けて強化・調整を行う。VNL大会は昨年同様、ファイナルラウンド進出を前提に各試合を戦っていき、パリオリンピックに向けて、十分な実践経験を積んでいく。

◇パリオリンピックに向けて

事前合宿としてポーランドに遠征（7月中旬）、数か国の強豪チームとフレンドリーマッチを実施し、オリンピック本番に備える。そして2024パリ大会では、2020東京大会以上の成績を残す、すなわちベスト4以上、そしてメダル獲得を目指す。

■女子：国内合宿・NTCを中心に強化合宿を実施

2023-24シーズン女子Vリーグは早めにファイナルを終了し、3月上旬よりVNLへ向けて代表活動を始動する。VNL第1週はトルコ開催ということで事前にアメリカでの強化試合を予定しVNLへ臨む。VNL予選終了時点での世界ランキングにてオリンピック出場権が決定するため、ランキング下位チームに取りこぼすことなく万全な態勢で戦っていく。VNL第3週が日本開催ということもあり、まずは日本でのオリンピック出場権を獲得し、VNLファイナルラウンド、そしてオリンピックのメダル獲得へ向けチーム強化を図っていく。

（注）日本代表チームとはトップレベル選手で構成された日本の代表チーム

2) 男子・女子ユニバーシアード日本代表チーム強化合宿

将来フル代表に入る可能性があるポテンシャルの高い選手が揃っている。

2024年度は主要国際大会の開催はないが、選抜合宿を積極的に実施し強化の継続を図る。

■男子：国内合宿・NTC及び他で実施

ポテンシャルの高い現役大学生選手は、日本代表で活動していく為、それ以外の選手を対象とした強化学業となる。東西の有望選手を集めた合宿を年二回実施、2025年WUG大会に向けた活動となる。コロナ禍で海外経験が不足している選手も存在している為、この年代の海外遠征も積極的に取り入れていく。

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子東西大学強化合宿(NTC)(11/2-11/6)	NTC	4泊	5日	13名	30名
男子ユニバ合宿(NTC)(2/3-2/11)	NTC	8泊	9日	7名	20名

■女子：国内合宿・NTC及び他で実施

2025年度のWUG大会へ向け新たにチームを結成し、代表活動にもつながる選手の育成強化を図る。試合経験も重要であることからJVL主催のサマーリーグへの参加、さらにはアジア東部地区大会へ参加し国際経験を積んでいき強化に努める。

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子ユニバ日本代表合宿 (5/27-6/2)	未定	5泊	6日	11名	18名
女子ユニバ日本代表合宿 (6/27-30)	熊本	3泊	4日	5名	14名
女子ユニバ日本代表合宿 (7/4-7/7)	石川	3泊	4日	5名	14名
アジア東部地区選手権大会事前強化合宿 (8/4-8/11)	未定	7泊	8日	11名	14名
アジア東部地区選手権大会 (8/11-8/19)	香港	8泊	9日	9名	14名
女子ユニバ日本代表合宿 (2/21-2/26)	NTC	5泊	6日	11名	24名

(注) ユニバーシアードチームとは、主に大学生を中心に構成される日本の代表チーム

3) 男子・女子 U20 日本代表チーム強化合宿

コロナ前の活動状況に戻り、積極的に合宿を再開している。2024年度はアジア選手権において上位進出し、世界選手権出場権の獲得に向け強化を推進する。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

アジア選手権で成果を出せていない理由の一つとして、合宿日数の確保があげられる。

※アジア強豪国と比べ圧倒的に少ない (U18, U16 同様)。

その改善策として1月より強化をスタート。2回の選考合宿を実施した後、3月からメンバーを絞り、7月の本大会に向けたチーム作りを実施する。

事業名 (期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子 U20 日本代表合宿(国内) (5/3-5/7)	未定	4泊	5日	7名	20名
男子 U20 日本代表合宿(国内・海外) (7/13-7/22)	未定	9泊	10日	7名	14名
男子 U21 日本代表合宿(国内) (1/15-1/21)	NTC	6泊	7日	7名	20名

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

女子 U20 日本代表は 2023 年世界選手権へ出場したが第 4 位という結果でメダルまで一步であった。2024 年は中国で開催予定のアジア選手権で世界選手権への出場権を獲得し、世界でメダルが狙える強化を図っていく。

事業名 (期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子 U20 日本代表合宿 (4/22-4/26)	未定	4泊	5日	9名	24名
女子 U20 日本代表合宿 (5/27-5/31)	未定	4泊	5日	9名	24名

女子 U20 日本代表合宿 (6/24-6/29)	未定	5泊	6日	9名	12名
女子 U20 アジア選手権大会 (6/29-7/9)	中国	10泊	11日	9名	12名
女子 U20 日本代表合宿 (11/18-11/22)	NTC	4泊	5日	10名	24名
女子 U20 日本代表合宿 (2/10-2/14)	NTC	4泊	5日	10名	24名
女子 U20 日本代表合宿 (3/10-3/14)	NTC	4泊	5日	11名	24名

(注) 男子・女子 U20 日本代表チームとは、2005年1月1日以降に出生した選手で構成される日本の代表チーム

4) 男子・女子 U18 日本代表チーム強化合宿

U20 と同様、コロナ前の活動状況に戻り、積極的に合宿を再開している。2024 年度はアジア選手権において上位進出し、世界選手権出場権の獲得に向け強化を推進する。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

2023 年 U19 世界選手権では、インターハイと日程が重なり、本来のチーム編成ができない状況で大会に参加。今回の 2024 年 U18 アジア選手権も同様、インターハイとスケジュールが重なっており、チーム編成が問題となる。インターハイに出場しないメンバーで世界選手権の出場権が獲得できるよう、最善を尽くす。

事業名 (期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子 U18 日本代表合宿(国内) (4/26-4/30)	未定	4泊	5日	7名	20名
男子 U18 日本代表合宿(国内) (7/16-7/20)	未定	4泊	5日	7名	14名
男子 U19 日本代表合宿(薩摩) (12/3-12-7)	薩摩川内	4泊	5日	7名	25名
男子 U19 日本代表合宿(大阪) (2/12-2/16)	大阪	4泊	5日	7名	20名
男子 U19 日本代表合宿(大阪) (3/20-3/24)	大阪	4泊	5日	7名	20名

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

女子 U18 日本代表は 2023 年世界選手権へ出場したが第 4 位という結果でメダルまで一步であった。2024 年はタイで開催予定のアジア選手権で世界選手権への出場権を獲得し、世界でメダルが狙える強化を図っていく。

事業名 (期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子 U18 日本代表合宿 (4/15-4/19)	未定	4泊	5日	9名	23名

女子 U18 日本代表合宿 (5/13-5/17)	未定	4泊	5日	9名	20名
女子 U18 日本代表合宿 (6/7-6/14)	未定	7泊	8日	9名	12名
女子 U18 アジア選手権大会 (6/14-6/24)	タイ	10泊	11日	8名	12名
女子 U18 日本代表合宿 (11/18-11/22)	NTC	4泊	5日	10名	24名
女子 U18 日本代表合宿 (2/10-2/14)	NTC	4泊	5日	10名	24名
女子 U18 日本代表合宿 (3/16-3/23)	NTC	7泊	8日	10名	24名

(注) 男子・女子 U18 日本代表チームとは、2007年1月1日以降に出生した選手で構成される日本の代表チーム

5) 男子・女子 U17 日本代表チーム強化合宿

女子は2023年第1回U16アジア選手権で優勝し、2024年U17世界選手権出場権を獲得した。2024年度は本大会での上位進出を狙うべく強化を推進する。男子は世界選手権の出場権を獲得できなかったが強化を継続し、有望選手の発掘など積極的な活動を推進する。

■男子：国内合宿・NTC及び他で実施

アジア選手権で惜しくも敗れ、世界選手権の出場権を獲得することができなかったが、U16世代の強化が必須であり、次回大会に向けた強化を2024年度は実施していく。

事業名 (期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子 U16 日本代表合宿(国内) (4/20-4/23)	未定	3泊	4日	7名	25名
男子 U16 日本代表合宿(国内) (5/10-5/13)	未定	3泊	4日	7名	20名
男子 U16 日本代表合宿(国内) (8/20-8/23)	未定	3泊	4日	7名	20名

■女子：国内合宿・NTC及び他で実施

女子 U16 日本代表は2023年アジア選手権で優勝し、2024年の世界選手権（開催国未定）でのメダル獲得へ向け、国内合宿を多く実施し強化を図っていく。

事業名 (期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子 U17 日本代表合宿 (4/15-4/19)	未定	4泊	5日	9名	22名
女子 U17 日本代表合宿 (5/7-5/11)	未定	4泊	5日	8名	24名
女子 U17 日本代表合宿 (6/3-6/7)	未定	4泊	5日	8名	24名
女子 U17 日本代表合宿 (7/15-7/19)	未定	4泊	5日	8名	20名

女子 U17 日本代表合宿 (8月上旬)	未定	未定	未定	11名	12名
女子 U17 日本代表合宿 (8月中旬)	欧州	未定	未定	7名	12名
女子 U17 世界選手権大会 (8月下旬)	未定	未定	未定	7名	12名
女子 U17 日本代表合宿 (11/18-11/12)	NTC	4泊	5日	10名	24名
女子 U17 日本代表合宿 (2/10-2/14)	NTC	4泊	5日	10名	24名
女子 U17 日本代表合宿 (3/17-3/21)	NTC	4泊	5日	10名	24名

(注) 男子・女子 U17 日本代表チームとは、2008年1月1日以降に出生した選手で構成される日本の代表チーム

【ビーチバレーボール】

1) 男子・女子日本代表チーム強化活動

2023年度に引き続き強化戦略プランに基づいた強化を推進する。2024年度最大の目標は男女ともにコンチネンタルカップを優勝しパリオリンピックの出場権を獲得すること。

コンチネンタルカップに向けて男女ともにヘッドコーチ制を敷き、日本代表選手の国内外合宿開催と国際大会の派遣を積極的に行う。同時に、パリオリンピック後の強化組織編制を進め、オリンピック終了後に強化活動を停滞させることなくスムーズな活動ができるよう準備を行う。

2) 男子・女子アンダーカテゴリー強化活動

2023年度に立ち上げたビーチエリートアカデミー事業を軸に、アンダーカテゴリー強化指定選手を対象とした定期的な練習会と合宿を行い継続的な強化を図る。技術スキルの向上に併せて、年間を通じた各種講習会を実施し、世界で活躍できるトップアスリートに必要な素養を高めることも目指す。

2023年度はU19世代の国際大会とFISU主催の世界大学選手権が開催されるため、これらの大会をターゲットに強化活動を行う。

(2) 各カテゴリー日本代表選手団の国際大会派遣事業

【バレーボール】

1) 男子：

<日本代表>

・バレーボールネーションズリーグ 2024

Week 1	5/21-26	ブラジル
Week 2	6/4-9	日本
Week 3	6/18-23	フィリピン
FNL	6/27-30	ポーランド

- ・第33回オリンピック競技大会 (2024/パリ) 7/28-8/11 フランス

<アンダーエイジカテゴリー (年代別日本代表) >

- ・2024 男子 U20 アジア選手権大会 7/23-30 インドネシア
- ・2024 男子 U18 アジア選手権大会 7/28-8/4 バーレーン

2) 女子:

<日本代表>

- ・バレーボールネーションズリーグ 2024

Week 1 5/14-19 トルコ

Week 2 5/28-6/2 マカオ

Week 3 6/11-16 日本

FNL 6/20-23 タイ

- ・第33回オリンピック競技大会 (2024/パリ) 7/27-8/10 フランス

<アンダーエイジカテゴリー (年代別日本代表) >

- ・2024 女子 U18 アジア選手権大会 6/16-23 タイ
- ・2024 女子 U20 アジア選手権大会 7/1-8 中国
- ・2024 女子 U17 世界選手権大会 8月中 FIVB 入札 (未定)
- ・2024 東アジア地区女子選手権大会 8/13-18 香港

【ビーチバレーボール】

1) ビーチバレーボール男女日本代表チーム

- ・第33回オリンピック競技大会(2024/パリ) 7/27-8/10 フランス
- ・バレーボールワールドビーチプロツアー 通年 世界各地
- ・2023 アジアビーチバレーボール選手権大会 未定 オーストラリア
- ・AVC ビーチツアーオープン 通年 アジア各地

2) ビーチバレーボール年代別男女日本代表チーム

- ・2024U19FIVB ビーチバレーボール世界選手権大会 8/27-9/1 中国
- ・第5回 U19 アジアビーチバレーボール選手権大会 5/1-5 タイ
- ・2024FISU 世界大学選手権大会 9/2-6 ブラジル

2-1-2. 競技力向上に係る環境整備及び調査研究事業

(3) 競技活動を行う選手の競技・練習環境の整備、情報発信

1) 味の素ナショナルトレーニングセンター バレーボール専用コート設備更新

- ① バレーボールマシンメンテナンス（一部 旧製品の譲渡処理等）
- ② 備品のメンテナンス、管理情報更新作業
- ③ 旧ボールバンク備蓄ボールの提供処理

2) ビーチバレーボール競技別強化拠点（川崎マリエン）

- ① バックオフィス強化
- ② 情報戦略分野での継続支援
- ③ 医科学情報分野での人的リソース配備
- ④ 各種研修会による教育サポート

3) ビーチバレーボールアスナビ

ビーチバレーボールの普及を目的に、新規にビーチバレーボール版アスナビを立ち上げる。卒業後、競技継続を希望する学生に対して就職支援を行い、卒業後も競技を継続できる環境構築を目指す。

(4) 競技力向上にかかわるバレーボール技術・戦術の調査研究及びスポーツ医科学の調査研究事業

1) 日本代表選手の科学的測定評価、測定結果に基づくトレーニング処方立案とサポート

- ・男女日本代表選手バイメカ測定【2024年9月～10月予定】

2) 日本代表チームとの対戦が想定される外国チームの戦力掌握

3) トレーナーおよびアナリストの育成、教育を行って日本代表チームに派遣するとともに、日本代表チームが利用する機材およびデータの管理・運用

- ・アナリスト育成セミナー【2024年12月予定】
- ・アナリスト育成アカデミー【2025年1月～3月予定】

- ・アンダーエイジカテゴリー日本代表選手体力測定【2024年10月～2025年3月予定】

4) 日本代表チームにドクターを派遣し、歯科・整形外科診断を中心に選手の健康維持、怪我防止及び傷害発生時の対処、薬剤を手配

- ・男女日本代表選手へのメディカルチェック【2024年4月予定】

5) アンチ・ドーピングの啓発を含むスポーツ・インテグリティの向上をはかる

6) 感染症専門ドクターからの示唆を仰ぎ、コロナ感染症対策を十分に実施したうえで安心・安全なトレーニング環境を作る

・医師やトレーナーによる帯同報告会【2024年12月予定】

2-1-3. 将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業

(5) 将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業

1) 全国小学生・中学生・高校生長身選手の発掘育成事業

将来有望な長身選手の発掘、育成、強化を目的に、公募および各ブロックからの推薦によるオーディションを行い、選抜した有望選手の育成強化合宿を実施する。そして、合宿に参加した有望選手のリストを小学生・中学生から高校生までをデータ化し、選手情報を経年的に強化委員会等で共有する。また、年1回各カテゴリー（中学生・高校生）別の有望選手達による選抜チームを編成し、海外で外国人チームとの国際試合を行い、国際的に通用する選手の育成を行うとともに、将来のオリンピックを見据えたターゲット選手を選定し、一貫した指導を実践していく

※2024年度、高校選抜チームはタイへ遠征予定。中学選抜チームはイタリアへ遠征予定。

◆小学生エリートアカデミーオーディション合宿

・日時：2024年8月14日(水)～16日(金)2泊3日(予定)

・場所：味の素ナショナルトレーニングセンター(予定)

・人数：小学5・6年 男子30名、女子30名 *スタッフ：15名

◆小学生エリートアカデミー年末合宿

・日時：2024年12月25日(水)～12月28日(土)3泊4日(予定)

・場所：和歌山県田辺市 田辺スポーツパーク

・人数：小学5・6年 男子15名、女子15名

中学1・2年 男子15名、女子15名 *スタッフ：15名

◆全国中学バレーボール選抜強化(一次)合宿

・日時：2024年10月10日(木)～13日(日)3泊4日(予定)

・場所：岩手県紫波町「オガールアリーナ」「紫波町総合体育館」

・人数：中学2・3年 男子30名、女子30名 *スタッフ：15名

◆全国中学バレーボール選抜強化(二次)合宿

・日時：2025年1月9日(木)～12日(日)3泊4日(予定)

・場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

・人数：中学2・3年 男子12名、女子12名 *スタッフ：8名

◆中学選抜海外遠征

- ・日時：2025年2月16日(日)～25日(火)9泊10日(予定)
- ・場所：味の素ナショナルトレーニングセンター・イタリア(ベネチア)
- ・人数：中学2・3年 男子12名、女子12名 *スタッフ：10名
- ◆全国中学長身者合宿
 - ・日時：2025年2月6日(木)～9日(日)3泊4日(予定)
 - ・場所：味の素ナショナルトレーニングセンター他
 - ・人数：中学1・2年 男子45名、女子45名 *スタッフ：20名
- ◆全国高校選抜候補一次合宿(全国9ブロック高校生長身者合宿)
 - ・日時：2024年8月16日(金)～9月8日(日)*各ブロック2泊3日
 - ・場所：全国9ブロック施設
 - ・人数：各ブロック高校1・2年 男子16名、女子16名
*スタッフ：各ブロック10～15名
- ◆高校選抜候補第二次合宿・全日本ジュニアオールスタードリームマッチ
 - ・日時：2025年2月21日(金)～23日(日)2泊3日(予定)
 - ・場所：パナソニックアリーナ
 - ・人数：高校1・2年 男子48名、女子48名 *スタッフ：26名
中学3年 男子4名、女子4名
- ◆高校選抜候補第三次合宿
 - ・日時：2025年3月20日(木)～24日(月) 4泊5日(予定)
 - ・場所：墨田区総合体育館
 - ・人数：高校1・2年 男子24名、女子24名 *スタッフ：16名

2-2. 競技普及

2-2-1. 競技会開催事業

(1) 国際大会開催事業

1) バレーボールネーションズリーグ2024男女福岡大会

- ・会場：西日本総合展示場(福岡県北九州市)
- ・日程：男子大会 6月4日(火)～6月9日(日)
女子大会 6月11日(火)～6月16日(日)
- ・参加チーム：男子大会 ブラジル、ポーランド、スロベニア、イラン
トルコ、ブルガリア、ドイツ、日本
女子大会 アメリカ、イタリア、セルビア、オランダ、カナダ、
フランス、韓国、日本

2) 2024男子バレーボール国際親善試合 日本B対ドイツ 岩手大会

- ・会場：紫波町総合体育館(岩手県紫波郡)

- ・日程： 6月14日（金）～6月15日（土）

（2）全国大会等国内競技会開催事業

【バレーボール】

1) 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会

日本の6人制バレーボール最高のチームになる栄誉を競い、本協会の根幹となる天皇杯・皇后杯の名を冠するに相応しい、国内最高峰に位置づけられている大会である。本年は以下の日程で開催する。

■都道府県ラウンド（県代表1チームを選出）

- ・開催期間： 4～7月
- ・開催都市： 各都道府県内体育館

■ブロックラウンド（ブロック代表16チームを選出）

- ・開催期間： 9～10月
- ・開催都市： 各ブロック内体育館

■ファイナルラウンド：男子24チーム、女子24チーム

（ブロック代表16チームにS-V.LEAGUEのチームを加える）

- ・開催期間： 12月12～15日（1回戦～準決勝）、12月21・22日（決勝）
- ・開催都市： 大阪府大阪市（Asueアリーナ）

2) 全日本小学生大会（男女・混合大会）

教育的配慮のもとにバレーボールを通じて全国児童の親睦と交流を図ること、バレーボールによる小学生の体力向上とたくましさの醸成に努めること、小学生から正しいバレーボールの基本技術とチームプレーを体得し、楽しいゲームが出来るように指導することを目的に、以下の日程で開催する。

■都道府県大会

- ・開催期間： 4月～7月
- ・開催都市： 各都道府県内体育館

■全国大会

- ・開催期間： 8月6～9日
- ・開催都市： 東京都内、町田市、墨田区、神奈川県相模原市、小田原市、千葉県千葉市

3) JOC カップ全国都道府県対抗中学大会

将来のオリンピック選手の発掘と中学生バレーボールのレベルアップを図り、各チームとの交流を通して友情を深め、フェアプレー精神の高揚を目指し、中学生指導者の研修の場とすることを目的に、以下の日程で開催する。

- ・開催期間： 12月25～28日
- ・開催都市： 大阪府大阪市

4) 全日本高等学校選手権大会

都道府県予選を勝ち抜いた高校から日本一を決める大会として以下の日程で開催する。

- ・開催期間： 2025年1月5～12日
- ・開催都市： 東京都渋谷区（東京体育館）

5) 秩父宮賜杯・秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会

大学在校生で構成され全日本学連に有効に登録された大学で、地区学連より選抜されたチームが参加できる大会として、以下の日程で大学日本一を決める大会を開催する。

■秩父宮賜杯全日本大学選手権大会（男子）

- ・開催期間： 11月26日～12月1日
- ・開催都市： 東京都

■秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会（女子）

- ・開催期間： 11月26日～12月1日
- ・開催都市： 東京都

6) その他全国大会（JVA 主催/開催地都道府県協会等 主管）

大会名等	開催期間	開催都市
第10回全日本9人制バレーボールトップリーグ 女子レギュラーラウンド	6/15	広島県、大阪府、 鹿児島県、北海道 未定 未定
女子セミファイナルラウンド	未定	東京都 墨田区
女子ファイナルラウンド	8/3	未定 未定 広島県 広島市
男子オープニングラウンド	未定	
男子ファイナルラウンド	12/13～15	

第76回全日本9人制実業団女子選手権大会 第77回全日本9人制実業団男子選手権大会	7/13～15	東京都 日野市、 羽村市、立川市
第43回全日本9人制クラブカップ女子選手権大会	8/9～12	奈良県 香芝市、 橿原市、大和郡山市
第43回全日本9人制クラブカップ男子選手権大会	7/25～28	山口県 山口市
第23回全国社会人東ブロック男女優勝大会	11/1～4	岐阜県 関市、山口市
第23回全国社会人西ブロック男女優勝大会	10/18～21	愛媛県 松山市
第93回全日本9人制総合女子選手権大会	未定	大阪府 長野県 松本市、安曇 野市、大町市、池田町
第94回全日本9人制総合男子選手権大会	11/14～17	
第15回全国6人制バレーボールリーグ 総合男女優勝大会（地域リーグ） （東西決勝リーグ） （グランドチャンピオンマッチ）	4～12月 2025年1～3月 2025年3月	全国 各地 未定 未定 未定 未定
第72回黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会	5/1～6	大阪府 大阪市
第43回全日本6人制クラブカップ女子選手権大会	8/2～5	大阪府 大阪市、 和歌山県 和歌山市
第43回全日本6人制クラブカップ男子選手権大会	8/10～13	青森県 青森市
第27回全国ヤングクラブ優勝大会 女子	9/14、15	和歌山県 和歌山市 大阪府 門真市ほか
第27回全国ヤングクラブ優勝大会 男子	9/15、16	大阪府 門真市ほか
第13回全国ソフトバレースポレクフェスティバル	9/27～29	栃木県 宇都宮市
第26回全国ソフトバレーレディースフェスティバル	9/13～15	宮崎県 宮崎市
第32回全国ソフトバレーシルバーフェスティバル	11/8～10	福井県 福井市
第9回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル	11/23、24	神奈川県 大和市
第15回全国ヴィンテージ8's交流大会	10/18～20	石川県 金沢市

7) 共催大会

I. 公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）との共催

1) 国民スポーツ大会 SAGA2024（6人制）

- ・日程： 10/6～9
- ・開催都市： 佐賀県小城市、佐賀市、吉野ヶ里町、みやき町、鳥栖市市

2) 第24回日本スポーツマスターズ2024

- ・日程： 9/28～10/1
- ・開催都市： 長崎県島原市、雲仙市、佐世保市

II. 公益財団法人全国高等学校体育連盟との共催

1) 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技

- ・日程： 7/25～29
- ・開催都市： 大分県中津市、日田市

2) 全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技

- ・日程： 7/31～8/4
- ・開催都市： 大分県日田町

3) 第51回全国高等学校定時制・通信制大会

- ・日程： 7/30～8/3
- ・開催都市： 神奈川県平塚市

Ⅲ. 公益財団法人日本中学校体育連盟との共催

1) 第54回全日本中学校バレーボール選手権大会

- ・日程： 8/22～25
- ・開催都市： 福井県福井市

【ビーチバレーボール】

1) ジャパンビーチバレーボールツアー2024

2024年度は各分野の専門委員を含めたツアー実行委員会を設置し、お台場会場の復活や都市型開催の大会に関してはグランドスラム大会と称して、以下の通り大会を実施する。

第1戦	平塚大会	5/10～12	神奈川県平塚市
第2戦	都城大会	5/31～6/2	宮崎県都城市
第3戦	大阪大会（グランドスラム大会）	6/8～9	大阪府大阪市
第4戦	立川立飛大会（ナイター開催）	7/13～14	東京都立川市
第5戦	青森大会	8/30～9/1	青森県青森市
第6戦	名古屋大会（グランドスラム大会）	9/21～23	愛知県名古屋市
第7戦	お台場大会（グランドスラム大会）	9/28～29	東京都港区
第8戦	須磨大会	10/4～6	兵庫県神戸市
第9戦	松山大会	10/25～27	愛媛県松山市
第10戦	横浜大会（グランドスラム大会）	11/8～10	神奈川県横浜市

※上記日程は、2024年1月31日現在の予定

2) 第79回国民スポーツ大会ビーチバレーボール種目

- ・日程： 9月14日～17日
- ・開催都市： 佐賀県伊万里市

3) 日本選手権

大会名等	開催期間	開催都市
第36回全日本ビーチバレー大学選手権大会 アクティオ杯ビーチバレーボールジャパンカレッジ2024	8/6～8	神奈川県川崎市
第23回全日本ビーチバレーボール高校男子選手権大会 ビーチバレーボールジュニア男子選手権大会	8/9～11	大阪府阪南市
第28回ビーチバレーボールジャパン女子高校選手権大会 '24 マドンナカップ in 伊予市	8/9～11	愛媛県伊予市
第38回全日本ビーチバレーボール男子選手権大会 第38回ビーチバレージャパン	8/11～13	神奈川県藤沢市
第15回全日本ビーチバレーボール4人制中学選手権大会 第15回湘南藤沢カップ	8/17～18	神奈川県藤沢市
第35回全日本ビーチバレーボール女子選手権大会 ビーチバレージャパンレディース	8/23～25	大阪府泉南郡岬町
第5回全日本ビーチバレーボール中学選手権大会 第5回 HEKINAN マンモスカップ	8/24～25	愛知県碧南市

4) その他国内主要大会

大会名等	開催期間	開催都市
ビーチバレーボール NEXT2024 第6回全日本ビーチバレーボールU-23 男女選抜優勝大会	7/19～21	兵庫県明石市
第16回ビーチバレーボール川崎市長杯	10/12～13	神奈川県川崎市

【JAPAN VOLLEYBALL LEAGUE】

1) JAPAN VOLLEYBALL LEAGUE の開催支援事業

JVA が共催する「JAPAN VOLLEYBALL LEAGUE」に、本会はバレーボールの普及・振興に寄与する目的で、大会にジュリーと審判員の派遣を行い、試合運営ならびに開催の支援をする。また、相互の連携を定期的実施し、新リーグの目指すバレーボールのビジネス化と地域共生のコンセプトを支持し、バレーボール自体の認知度と価値の向上に努める。

2-2-2. 講習会開催事業、指導者、審判員等養成及び資格認定・登録事業

(1) 指導者養成・育成事業

日本バレーボール協会が養成する「指導者」は、スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタードの考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる指導者の養成を目標とする。

・指導者資格の「種類」と「活動内容」を整理した上で、バレーボール・ビーチバレー

ーボール・ソフトバレーボールの新たな資格制度の見直しを図る。

- ・ JSP0 公認スポーツ指導者（競技別指導者）の養成・育成事業を「専門科目認定講習会（準指導員含む）」「資格更新研修会」「指導スキルアップ研修会」に区分し、本年度中に事業の整理を行う。
- ・ 2027 年度に新 JVA 登録制度の完成を目標とし、アンダーエイジカテゴリー（育成年代）の資格取得（監督・コーチ）と登録義務化の計画を本年度中に策定する。
- ・ 日本スポーツ協会（JSP0）が提唱するプレイヤーズセンタードに賛同し、指導者の意識改革を促す。

1) JSP0 公認スポーツ指導者養成事業

■ JSP0 公認スポーツ指導者（競技別指導者資格）専門科目認定講習会

- ・ スタートコーチ : 都道府県 JSP0 と都道府県協会が実施
- ・ コーチ 1 : 都道府県 JSP0 と都道府県協会が実施
- ・ コーチ 2 : 都道府県 JSP0 と都道府県協会が実施
- ・ コーチ 3 : JVA 指導普及委員会が実施
- ・ コーチ 4 : JVA 指導普及委員会が実施

2) JVA 公認指導者の養成事業

- ・ 準指導員（コーチ 1） : 全国学生対象コーチ 1 養成講習会
- ・ 準指導員（コーチ 1） : クラブ連盟対象コーチ 1 養成講習会
- ・ 準指導員（コーチ 1） : 全国小学生指導者第一次講習会・第二次講習会（第一次＋第二次講習会終了で準指導員）
- ・ ソフトバレーボール・アクティブリーダー養成講習会
- ・ ソフトバレーボール・マスターリーダー養成講習会
- ・ ソフトバレーボール・マスターリーダー更新研修会

3) JSP0 公認スポーツ指導者・JVA 公認指導者の養成講習会を開催するための講師育成

- ・ JVA 公認講師認定講習会

4) 指導者育成事業

■ JVA 独自指導者研修会（指導スキルアップ研修・資格更新研修）

- ・ 都道府県別指導者研修会
- ・ 公認指導者研修会（公認講師、コーチ 3、コーチ 4 対象）
- ・ 全国中学生バレーボール指導者研修会
- ・ 日本実業団バレーボール連盟全国指導者研修会

- ・クラブ連盟対象指導者研修会
- ・ソフトバレーボール・アクティブリーダー研修会
- ・ビーチバレーボール指導者研修会

(2) 審判員養成・育成事業

国際大会における国際審判員の派遣および国内競技会の審判員派遣とともに、円滑な競技会運営のために、6人制・9人制・ビーチバレーボールの審判技術向上と審判員の養成・育成を目的に、主な事業を下記により開催する。

■ 審判員養成・育成事業		
インターナショナルレフェリー技術強化事業		
①海外遠征派遣事業	未定	高校選抜遠征に帯同
ナショナルレフェリー技術強化事業		
～6人制～		
②関東・東海・関西大学男子1部リーグ	4月～5月 9月～10月	(春季) (秋季)
～9人制～		
③N2レフェリー技術強化事業	5～8月	各ブロックへの講師派遣
④9人制A級審判員技術強化事業	年3回	北海道・東海・九州
⑤9人制レフェリー育成事業	未定	ブロックでの開催
～ビーチバレーボール～		
⑧B2レフェリー技術強化事業 (B1レフェリー認定事業)	4月13・14日	JBV浜松チャレンジャー大会
⑨ビーチバレーボールA級審判員技術強化事業	8月6～8日	ビーチバレー ジャパン・カレッジ2024
⑩ビーチバレーボールレフェリー育成事業	7月19～21日	全日本ビーチバレーボール U-23男女選抜優勝大会

(3) 審判員資格認定事業

審判員の資格審査認定講習会を開催し、登録部が審判員の登録を管理する。

- A級審判員 ○A級候補審判員 ○B級審判員
- C級審判員 ○ビーチバレーボール審判員

2-2-3. 競技者拡大活動

近年の急激な競技人口の減少は憂慮すべき事態であり、すべてのカテゴリーにおいて減少している。競技人口を増やすことは喫緊の課題であるため、競技者拡大に向けた事業の検証・整理を行い、現行の事業の継続、リニューアルも含めた計画を策定する。また、デベロップメント推進部を中心に競技者の更なる拡大・競技の継続に向け、産官学協働事業を継続して実施し、小学生・中学生におけるバレーボールプログラムの充実・拡大を図るため今年度は以下の事業を実施する。

(1) Vリーグ選手と一緒にバレーボール教室

小学生のバレーボール未経験者及び初心者を対象に、Vリーグ選手（含OB・OG）が参加してバレーボール教室を全国4会場で開催。

- ・日時：6月～10月までの各会場1日
- ・場所：群馬県、岐阜県、岡山県、鹿児島県の4会場で開催(予定)
- ・人数：各会場バレーボール経験者（約50名）、未経験者（約30名）

(2) 中学校ビギナー選手バレーボール大会推進

中学1年生からバレーボールを始めた選手への競技継続のモチベーションの促進とともに、競技の魅力及び競技力の向上を目的とするためのバレーボール教室及び大会(全国)を開催。

- ・日時：10月～2月までの各会場1日
- ・場所：全国9ブロック13か所で開催
北海道・宮城県・東京都・千葉県・埼玉県・愛知県・富山県・長野県・岐阜県・京都府・岡山県・香川県・佐賀県(予定)
- ・人数：中学1・2年（1会場20～30校参加予定）

(3) 全国小中一貫バレーボール教室

小・中学生合同のバレーボール教室を実施する。一貫指導の充実とバレーボール人口の増加を図ることを目的として、全国2会場（6月～10月）で開催。

- ・日時：6月～10月までの各会場1日
- ・場所：山口県、高知県(予定)
- ・人数：小学5・6年（30～50名）、中学1～2年（20～30名）

(4) 幼稚園・保育園等でのソフトバレーボール（風船等）実践

ソフトバレーボールを通して、幼児期にバレーボールの楽しさを伝えるとともに、ボールを使ったコーディネーショントレーニングを実践し、幼少期の運動能力・発育を促す事業として、全国9ブロックで年1回(6月～2月)展開。

- ・日時：6月～2月までの各会場1日

- ・場所：岩手県、栃木県、新潟県、静岡県、京都府、山口県、鳥取県、高知県、長崎県(予定)
- ・人数：幼稚園・保育園児（1会場30名～40名）

(5) アンダー10大会促進

小学4年生以下を対象としたチーム内でレギュラー以外の選手の競技継続を目的とした大会を開催し、ボール接触機会と競技の楽しさを味わってもらうとともに、次カテゴリでのバレーボール継続を促進。全国25都道府県で年1回(6月～2月)開催。

- ・日時：6月～2月までの各会場1日
- ・場所：全国20都道府県開催立候補地区体育館
北海道、青森県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、山梨県、長野県、富山県、石川県、福井県、静岡県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、岡山県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県(予定)
- ・人数：小学1～4年生（50名～80名）（開催地によって変動）

(6) 競技環境の整備と競技人口減少への対策

1) 実態把握と対策

競技者拡大委員会を中心に小学校・中学校・高校の競技者の実態把握と分析を行い、各カテゴリと連携して今後の対策を講じる。

2) 部活動改革プロジェクトの発足

部活動の地域移行への対応の為に、本年度に部活動改革プロジェクトを立ち上げ、今後の対応を検討する。

2-2-4. 登録システム構築事業

(1) JVAメンバー制度登録管理システム (Membership Registration System)

組織基盤改革PJに基づいた、登録規程の見直しを完了させ、システムの再構築について方針を確定する。

2-2-5. アンチ・ドーピング事業

(1) 競技の高潔性維持とアンチ・ドーピングの遵守

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) とのさらなる連携を図り、ドーピング検査の実施や教育・啓発活動を推進する。特に、日本代表選手 (シニア・ユニバ・ジュニア・ユースを含む) やトップリーグの選手・チームスタッフに対して講習会を実施し、バレーボール界における更なるドーピング知識の浸透を図る。

2-2-6. 国際交流事業

(1) 国際交流事業

- 1) FIVB 及び AVC 役員等派遣事業
- 2) 国際移籍 (International Transfer Certificate)

2-3. マーケティング

2-3-1. マーケティング事業

JVA の事業を安定的に運営すべく、バレーボールの社会的な価値および JVA が所有する各種プロパティの価値を向上するための適切なプロモーション活動を行い、JVA の目指す方向や各事業にご賛同いただいている協賛社やファン、競技者の皆様との紐帯を強化すると共に、新規ファンやパートナー企業の獲得に向けて積極的に活動を行う。

(1) 協賛企業獲得

- ・目標：今年度中に次年度 30 社 12 億円の協賛金契約を得る。

既存協賛社やサプライヤー企業には 2024 年度契約内容の実行及びアクティベーション対応による満足度向上を図り契約継続を目指しつつ、新規企業に対してもバレーボールの社会的な価値および JVA が所有する各種プロパティの価値や社会貢献活動などを訴求ポイントとして、積極的なセールスを実施する。

(2) グッズ事業

- ・目標：グッズ売上収入 9,600 万円、収益 500 万円

国際大会等の機会を活かした日本代表関連グッズの会場販売に加え、JVA の新しいブランディングロゴを活用したグッズ展開とプロモーション、ファンクラブと ID を共通化した E コマース体制の構築などを通じて、質量ともにバレーボールファンに満足してもらえるグッズ事業を展開する。

(3) 肖像使用許諾事業

- ・目標：肖像権使用許諾料収入 760 万円

日本代表選手への還元を主な目的に、協賛社に広告などへの肖像使用や日本代表映像を使用した映像作品の制作などを対外的に積極的にプロモートする。また、JVL と連携したデジタルトレカなどの事業を推進し新規ビジネスにも積極的に参画する。なお、JVA の新しいブランディングロゴを活用したライセンス事業も開拓する事で、肖像権使用許諾料収入に繋げていく。

(4) ファンクラブ事業

- ・目標：会員数 5,000 人、会費収益 1,500 万円

オリンピックの年につき日本代表チームのアクティビティが少ない年度ではある

が、会員数減少を最小限にすべく、グッズ販売サイトやチケット販売サイトとのID統一化による利便性向上を図る。また、独自イベント・試合観戦特典などの企画実施によって、国際大会チケット優先購入権以外の会員メリットを創出し、コアファンとライトファン双方の取り込みとマネタイズを図る。

(5) 用具・用品等の公認事業及びその他の公認物品販売事業

・目標：公認・推薦事業収入 5,500 万円/ルールブック製作販売事業収入 3,700 万円

全国幅広い層の競技者の安全と安心を担保するため、国内で販売されるバレーボール用品の公認・推薦事業を行う。またバレーボールの正しいルールを周知するため公式のルールブックを製作し販売する。

2-4. 社会貢献

2-4-1. 社会貢献活動・環境問題への取り組み

(1) 社会貢献活動・環境問題への取り組み

1) 新プログラム開発

地域と連動した保護者と子供が共に参加できる新しいプログラムを開発する。

2) CO2 排出対策

国際/国内大会開催時に水素カーを利用した CO2 排出対策を実施する。

3) ビーチクリーン活動

ビーチバレーボール大会においてビーチクリーン活動を実施する。

(2) 国際貢献事業

1) ボール寄贈事業

2-5. 組織改革

2-5-1. 加盟団体との連携強化

(1) 法人格取得に向けた支援

加盟団体の法人格取得に向けた各種支援を実施する。

(2) 事業間の連携

JVA の各種事業において、相互の連携を図りながら運営にあたる。

(3) 新 V リーグ支援

新 V リーグの大会告知とマーケティング活動においても支援する。

(4) 人材ポートフォリオ・要員計画

事業（業務）ポートフォリオの比較を行い、経営計画との連動により経営計画の実現に求められる人材を確保する。

以上